

WGの実施について

令和6年度 自律型無人探査機(AUV)官民プラットフォーム
第2回

2024年8月29日

WGの実施について(1/3)

- 課題①から③に対する検討に資することを目的として、予見可能性が高い「浮体式洋上風力発電におけるAUVの活用※」を例として、具体的な検討を進める。

※ 第1回官民PFのアンケートでも、浮体式洋上風力発電におけるAUVの活用に関する検討を求める声が多数あった。

「検討等の全体像と関係性の整理(再掲)」

今年度官民PFにおける検討のスコープ

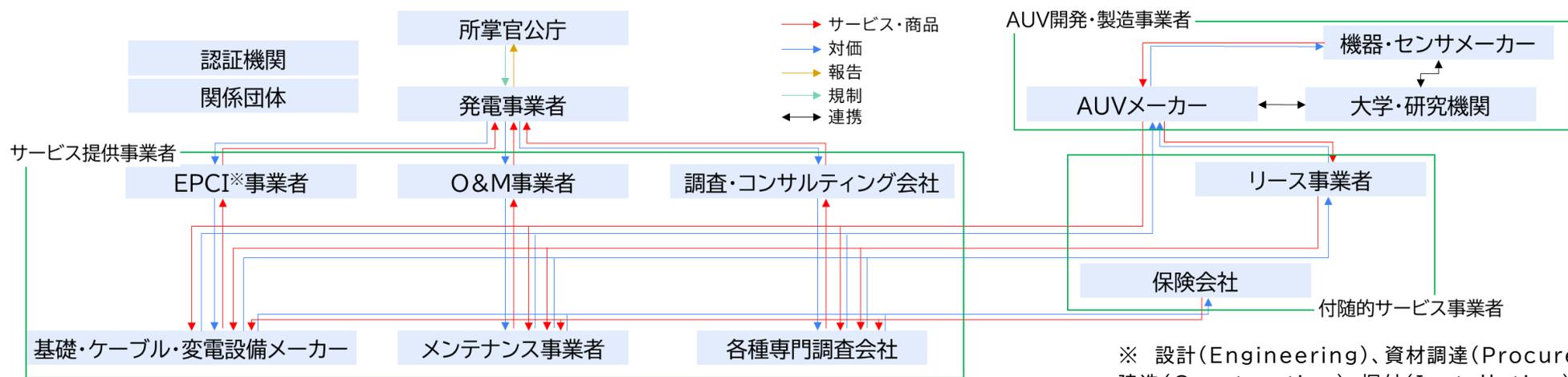


WG 浮体式洋上風力発電を例とした集中検討 NEW	
検討項目(案)	期待される成果(案)
ユースケース	浮体式洋上風力発電のライフサイクルにおける具体化されたAUVのユースケースを示す。
仕様等	上記ユースケースに求められるAUVの機能・性能を具体化し、AUVの仕様を示す。
ガイドライン	上記ユースケースの要領や頻度等を示すガイドラインの概要を示す。

WGの実施について(2/3)

- 官民PF参加企業・団体等は、WGへ積極的に参加いただきたい。(参加企業・団体等は、以下に示すSVNにおけるポジションを表明して参加)

図「浮体式洋上風力発電に係るSVN(案)」



※ 設計(Engineering)、資材調達(Procurement)、建造(Construction)、据付(Installation)の略

出所)三菱総合研究所「洋上風力発電事業の動向と国内企業の参入可能性について」を参考にSVN(案)を作成
<https://f-wpa.jp/site/wp-content/uploads/2023/03/fcfcfc6095579c5e7176ac2f295e1693.pdf> (最終確認2024/8/6)

カテゴリー	期待されるワーク
発電事業者	コスト受容度の深掘り
サービス提供事業者	ユースケースの深掘り、作業コスト比較(AUV vs ROV)、機能、性能ニーズの深掘り、社会実装・海外展開を進めるにあたっての課題(制度、ガイドライン、保険等)の抽出、必要人材の要件整理
AUV開発・製造事業者	サービス提供事業者が示す機能、性能ニーズを踏まえた開発・製造スケジュール、プロセスの深掘り、社会実装・海外展開を進めるにあたっての課題(制度、ガイドライン、保険等)の抽出、必要人材の要件整理
付随的サービス事業者	ビジネス成立要件の深掘り

WGの実施について(3/3)

- スケジュールは次のとおり。



※検討方式及び検討頻度は現時点案であり、細部はWGリーダー所定とする。